

日本脊椎脊髄病学会

平成 23 年度第 1 回国際委員会議事録

日時：平成 23 年 4 月 20 日（水）17：30～18：00

場所：日本整形外科学会 2 階 会議室

出席者：富士武史理事、岩崎幹季委員長、松山幸弘アドバイザー、鑑邦芳委員、豊根
知明委員、湯川泰紹委員、事務局 2 名

欠席者：石井祐信委員、清水克時委員、白石建委員、小西宏昭委員、長谷川和宏委員

議題：

1. 第40回学術集会中止に伴う検討事項

①アジアからの招聘者費用の用途について

- ・ 招待者4名の費用(80万円)・宿泊費(30万円)の合計約110万円から、今年度のフェロー内定者に対して面接のための旅費・宿泊費を一部支給した。

残金については学術集会へ送金することも検討したが、学会長からの辞退を受け繰越金とすることとなった。

フェローの交通費は地域ごとに定額とし計 424,000 円支給した。学術集会費用の繰越金は 676,000 円となった。

②寄附をいただいた企業への報告

- ・ 学会誌抄録号の寄贈と共に岩崎委員長より御礼と報告を行った。
- ・ 来年の抄録号に寄附企業名を掲載する件については、税金がかかるため掲載しないこととなった。

③昨年度のATFポスター発表ができないが、どのように公開するか

- ・ 昨年度と今年度の2年分を同時に発表するという案について、スペース等の問題を岩崎委員長が次期学術集会の永田会長と協議することとなった。

2. ATF,VSP について

①2011 年度 第 6 回 ATF のペアと研修先を岩崎委員長が決定した。

②2012 年度 第7回ATF、VSP募集計画は例年通りとする。

3.新設のAward に対する今後の流れ

- ・ 担当委員の設置について：湯川委員を担当とする。
- ・ International session は英語のポスター発表とし、優秀演題 5 題に対して各 10 万円の賞金を授与する旨、次期学術集会の永田会長に依頼済み。
- ・ 抄録の一部を英語(100-150 語)とする旨、理事会で承認済み。ただし従来の抄録集(学会誌)への掲載は頁数の都合上、困難と考えられる。現在大正富山が作成しているポケットプログラムのような、ポケットブックの作成を検討してはどうかという案が出た。

- ・ ポケットブックの作成にはスポンサーが必要となるので、寄附企業の新規開拓に努める必要がある。

4. 寄附に関する趣意書の確認

- ・ 毎年、当学会および日整会学術集会時に企業へお願いをしていた。今年は岩崎委員長を筆頭に各委員が企業へお願いしていく。
寄付金の募集は8月末まで、振り込みは12月末までと期限を設定し、趣意書に追記する。
趣意書は岩崎委員長が推敲し事務局から各委員へ配布することとなった。

5. その他

- ・ 次回委員会開催は、久留米にて10月27日朝(側彎症学会ならびに脊椎インストラメンテーション学会の会期中)に開催予定。